

総務教育常任委員会資料

(令和5年5月19日)

〔 件 名 〕

ページ

- 令和5年度第1回県・市町村行政懇談会の開催結果について

【新時代・SDGs推進課】・・・2

令和新時代創造本部

令和5年度第1回県・市町村行政懇談会の開催結果について

令和5年5月19日

新時代・SDGs推進課

令和5年度第1回県・市町村行政懇談を開催し、こども・子育て施策の強化、買い物機能など生活基盤の確保、県民の政治参加の促進等、県と市町村が連携して取り組んでいくべき施策や課題について、知事と市町村長が意見交換を行いました。

1 日時 令和5年5月18日（木）午後3時から5時まで

2 会場 県庁講堂

3 出席者 市町村長、知事、副知事、統轄監、関係部局長等

4 概要

(1) 「シン・子育て王国とっとり」宣言

県から小児医療費の完全無償化について提案し全市町村の合意を得た。また、保育料の一層の負担軽減や、保育人材の確保、出会い・結婚の支援、産後ケアの充実など、「シン・子育て王国」構築に向けて、県・市町村が連携して、こども・子育て施策を強化していくことを確認した。

あわせて、ALTの活用など、市町村における英語教育の推進について意見交換を行った。

(2) 買い物機能などの生活基盤の確保

喫緊の課題である買い物機能の確保のほか、交通対策、医療提供体制の確保、事業承継など、地域の生活機能維持に関する諸課題について意見交換を行った。

(3) 地方自治の危機克服へ

全国的な投票率の低下や地方議員の成り手不足について、市町村長と問題意識を共有するとともに、研究会の立ち上げなど、投票率向上・なり手不足解消等のための対策について県と市町村が連携して検討していくことを確認した。

<市町村長の主な意見>

(シン・子育て王国とっとり)

- ・小児医療費の無償化について全県一斉スタートとしてはほしい。開始時期を決めていただくと市町村としては準備に取り組みやすい。無償化した場合、コンビニ受診による増加が懸念されるので、小児医療に対する負荷をかけすぎないようにリスク回避について研究してほしい。
- ・小児科医は子育て環境の要であり、地域の小児科確保への支援をお願いする。
- ・保育士不足は課題。瞬間的な不足に対して人材バンク的な制度の創設も検討してほしい。
- ・産後ケア事業は単価設定など統一的な基準を設定してほしい。
- ・英語教育の推進については全面的に賛同する。鳥取県は日本海に開けており、語学という特色を出していくことは必要。

(買い物機能などの生活基盤の確保)

- ・店舗閉店に対する支援のみならず、従前からの店舗販売の継続に対しても支援を検討してほしい。

(地方自治の危機克服へ)

- ・政治の参加意識を高めていく、投票環境を整えていくことは大切なことなので、ぜひ研究会を発足して取り組んでほしい。

<知事の総括コメント>

- ・小児医療費の無償化について様々課題や調整項目はあるものの、県内市町村一斉に展開することが適当とのご意見もあり、その方向で進めていくことをご理解いただけたと承知。その上で、いただいた課題について対策を検討・調整してまいりたい。保育料の無償化や保育人材確保について継続的に調整していくとともに、各市町村から要望のあった産後ケアの基準づくりについて検討したい。
- ・英語教育の推進については、市町村と共通認識を持って取り組んでいく。
- ・買い物環境確保計画については市町村の計画を後押しするとともに、支援対象を拡充するなど柔軟な対応を検討したい。
- ・政治参加については、取り急ぎは研究してみようというところは一致したので、県も責任を持って取り組んでいきたい。研究を開始するとともに、投票率やなり手不足の問題について鳥取から実証してみたい。